

「近江鉄道日野駅舎改修工事」を着工します

思い出と未来をつなぐ現役木造駅舎を100年先へ

近江鉄道日野駅は大正5年に建てられ、今年で築100年を迎えます。現存する木造駅舎で100年を超える数少ない駅舎のひとつです。その味わい深いレトロな駅舎は、映画のロケやテレビ放映でも多く使われ、住民と鉄道ファンからこよなく愛されています。

しかし、老朽化がすすんでおり、歴史と風情ある佇まいの現駅舎の良さやなつかしさ、愛着が駅から消えてしまいかねません。まちのたからである駅舎を残すため、日野町では、近江鉄道に協力を呼びかけ、一緒に日野駅の再生修復工事をおこなうこととなりました。



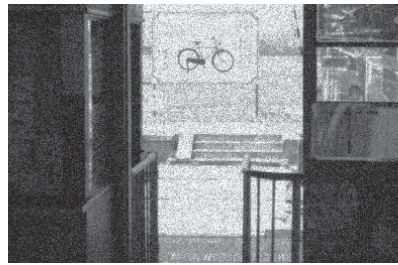
記憶の伝承〜再生工法により新旧が融合した駅に

この事業では、「ガタンコトン」と走る電車の音とゆっくりと流れる時間と

ともに次の100年を生きる人々に伝承するため、再生工法を用いて改修します。そして、現駅舎の中で生かせるものを生かし、歴史の重みと同時に利便性や快適性が融合した新たな駅舎に生まれ変わります。

「心の交流の玄関口」

日野駅の改修後は、日野町を訪れてみたい、住んでみたいと思わせる情報発信の拠点施設「心の交流の玄関口」として、一本電車を遅らせてでも、ほっと一息つきたくなる駅をめざします。改修工事は、平成29年3月末完成予定で行なわれ、その間は仮設駅舎となります。皆様には大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いたします。



問い合わせ先 ◆ 企画振興課 企画人権担当 ☎0748-52-6552

平成28年社会生活基本調査が実施されます。

実施されます。

調査員が訪問しますので、ご協力をお願いします。

◆ 調査対象

統計理論に基づく方法によって全国から無作為に選ばれた約9万世帯(10歳以上の世帯員約20万人)です。

◆ 調査結果

1日のうちのどのくらいの時間を、仕事、家事、地域での活動などに費やしているか、また過去1年間に行ったスポーツ、ボランティア活動について、全国、地域別に明らかにします。

- ◆ 調査事項
 - ① 世帯や世帯員に関すること。
 - ② 過去1年間の自由時間における活動について。
 - ③ 1日の生活時間配分について。

調査結果は統計局のホームページへ掲載されます。

◆ 総務省統計局 ◆ 滋賀県統計課
◆ 日野町(企画振興課企画人権担当) ☎0748-52-6552

総務省統計局平成28年社会生活基本調査
<http://www.stat.go.jp/data/shakai/2016/index.htm>

温故知新

初めて日野駅に列車が

一一六年前に撮影された一枚の写真があります。日野駅のプラットホームで列車の到着を待つ人々の写真で、真新しい日野駅舎も後方に。なぜか、屋根にはまだ瓦が葺かれていません。明治三三（一九〇〇）年一〇月一日、日野駅開業当日の歴史的な記念写真です。



近江鉄道は、その四年前に株式会社として創立され、工費百万円で発着駅の彦根駅から工事を開始。八日市駅までは順調に進みました。しかし、その後の桜川・日野駅からは先

近江日野商人館、ふるさと館、感応館では、一〇月一五日から一二月二七日まで、三館連携企画展「これまでわかった日野商人の世界」を開催します。日野商人の「腕・薬・出店」の三大歴史をわかりやすく紹介します。ぜひ、ご来館ください。
今回の温故知新は、商人館からの歴史レポートです。

資金難により工事は行き詰まり、ついには幹部役員が総辞職する事態も発生しました。

ようやく、大阪の銀行からの資金繰りで工事再開。それでも資金難。水口から深川駅（現甲南駅）への路線が貴生川駅に変更。日野駅を上野田のひばり野付近へと要望する旧日野町民を置き去りのまま、全工事は完了。そして、一〇月一日、英国製六〇〇型蒸気機関車に牽引された一番列車が華々しく日野駅に滑り込んだのです。

住民の熱意で駅舎改築

大正に入ると、現日野町域の住民の間で寄付金集めが始まりました。開業式に屋根瓦も無かった日野駅の構内は、予算不足のために単線で、

その複線化を熱望する寄付金集め。総工費の五七％の資金と、北比都佐村が買上げた上りプラットホームの用地などが近江鉄道に無償で寄付されました。

始まった改築工事は三年近くを要し、わずか築一六年の旧駅舎も移築され、百年前の大正五（一九一六）年に完成したのが、現在の駅舎や駅構内なのです。

この写真は、改築後の昭和初期の日野駅舎で、現駅舎よりも軒が深く、後に改造されることとなります。屋根の上部左に見える煙突穴は今も見ることができます。



日野で生まれた鉄道構想

明治二五年、元彦根藩士で、明治政府官僚の西村捨蔵が、日野商人四名に面会を求めて日野へ。その目的は、四名が日野・水口間の交通手段に鉄道敷設を構想していたことを西村が耳にしたからです。

意気投合した五人は、日野の料亭で近江鉄道建設を協議。その場で描かれた一枚の構想図が元になり、近江鉄道が生まれました。その構想図が、大窪の西村泰郎さんのお宅に、祖父の鉄道回顧録「近鉄の起源」と共に保存されています。

過去百年、様々な文化や物資が日野駅を出入りし、人々が行き交いました。まるでシルクロード発着点のような日野駅の玄関口では、古代ギリシャのエンタシス様式の粋な柱が乗降客を迎えています。国内最古級の駅舎として現役の日野駅、そこが日野駅の「エライところ（仲間由紀恵さん）」です。

※日野駅舎は二〇〇七年に放送されたドラマ『エライところに嫁いできました！（仲間由紀恵主演）』のワンシーンで登場しました。